

図 勝連城跡位置図



出典等：勝連城跡周辺文化観光拠点整備基本計画（案）（うるま市 平成 25 年）

<p>地区名</p>	<p>おぎどうおおぐすくゆうすいぐん 荻道大城湧水群（北中城村）</p>	 <p>写真 アガリヌカー公園</p>
<p>文化財の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・荻道・大城地区では、地下水が湧出する荻道大城湧水群を共同井戸として築造し、生活文化に活かしてきた。遊水地の周辺緑化による生きものや生態系の保全への配慮、ハチウビー（初御水）等の地域伝統行事の継承、清掃美化活動や環境教育の場として、地域の住民の方々が積極的に活用していることが評価され、平成 20 年に荻道区と大城區から 5ヶ所ずつ、計 10ヶ所が「荻道・大城湧水群」として「平成の名水百選」に選定された。 	
<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 6 年から北中城村が実施した「古城周辺歴史的景観整備事業」では、北中城村・専門家と住民が協働で計画を策定し、共同井戸、池、東屋を配したミニ公園等の整備が進められた。 ・平成 21 年に地域住民の代表と村で構成する「荻道・大城湧水群活性化実行委員会」を立ち上げ、内閣府の「新たな公」によるコミュニティ創出支援モデル事業を活用して様々な活動が実施されている。 ・また、平成 24 年度からは、沖縄振興特別推進交付金事業を活用して、湧水群の新たな観光資源としての活用を目指し、ワークショップや視察を始め実態調査等を行っている。 	 <p>写真 住民による検討の様子</p>
<p>事業の特徴</p>	<p>○整備手法・事業費等 湧水群周辺の整備 平成 10 年度～14 年度：ミニ公園等の整備 約 65 千万円（単独事業） 平成 24 年度：現地踏査・実態調査、課題・方針の協議等 6,489 千円（沖縄振興特別推進交付金事業） 平成 25 年度：整備基本設計・実施設計 16,000 千円（沖縄振興特別推進交付金事業） 平成 26 年～29 年（予定）：湧水群周辺整備調査継続実施（沖縄振興特別推進交付金事業の活用を検討）</p> <p>○合意形成の方法 ・計画の段階から住民参加で作成するとともに、ミニ公園等の整備後は、自治会総会でそれらの活用を図る活動等について承認を得て、自治会の費用等を活用しながら活動している。</p> <p>○維持管理の方法 ・「住民がより楽しく暮らすことができ、訪れる人に心から満足してもらえるきれいな地域にしたい」という理念に基づき、十数名の住民により湧水周辺の美化清掃、草木の水やりなどの保全活動が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動資金は自治会から 5 万円、県の土木事務所から沿道の維持管理費として 5 万円、その他様々な団体等からの助成を活用している。 ・また、北中城村の取組として、毎年水質調査を行っている。 	 <p>写真 地域住民による美化活動</p>  <p>写真 地域住民による美化活動</p>

出典等：北中城村ホームページ、沖縄県ホームページ、国土交通省ホームページ、環境省ホームページ、湧水保全・復活ガイドライン（環境省 平成 22 年 3 月）、荻道・大城湧水群周辺整備調査報告書（北中城村 平成 25 年 3 月）、北中城村ヒアリング

図 荻道・大城湧水群位置図



出典等：湧水保全・復活ガイドライン（環境省 平成 22 年 3 月）、荻道・大城湧水群周辺整備調査報告書（北中城村 平成 25 年 3 月）